



JR新長田駅南側の復興の様子を見て歩く参加者(神戸市長田区で)

## 復興 確かな足取り

神戸 8年ぶり「iウォーク」

阪神大震災の被災地を回る「こうべiウォーク」が11日、8年ぶりに開かれ、約200人が神戸市長田区内の約4キロを歩いた。かつての常連や2007年の新潟県中越沖地震の被災地からの参加もあり、震災から14年を迎える神戸の街の復興を確かめた。

1999年から3回開か

れ、資金や警備上の問題で2002年から中断していた。今年は第1回からまる10年になるため、大きく変化した街並みを見てもらおうと市内のNPOなどでつくる実行委が復活させた。

JR鷹取駅南の大国公園を午前9時半に出発。10年前の地図と見比べながら、焼け残ったキリスト像があるカトリック鷹取教会や、震災前の古い商店が並ぶ丸五市場などを巡り、長田区役所南側の御蔵北公園を指した。

自宅が全壊した神戸市灘区の田中義文さん(75)は「人のにぎわいはまだまだだが、復興の苦勞がよくわかる。前を向いてもう一度活気を取り戻してほしい」と話した。

### 震災伝える